

平成21年5月13日

富士見町立統合中学校「校名」についての検討経過

校名部会

富士見町中学校統合推進委員会「校名部会」における新中学校校名検討経過は下記のとおりです。

1 校名選考過程

第1回校名部会 平成20年11月12日(水)午後7時～ 富士見高原中学校にて

〔協議事項〕 部会長選出、検討方法に関する意見交換

第2回校名部会 平成20年12月10日(水)午後6時半～ 教育長室にて

〔協議事項〕 スケジュールについて、校名決定の方法について

〔決定事項〕

- ・ 校名決定は5月を目途に進める。
- ・ 広く町民の参加を得るために公募とする。

第3回校名部会 平成21年1月14日(水)午後6時半～ 教育長室にて

〔協議事項〕 応募要領について、応募名の集計について

〔決定事項〕

- ・ 2月公募(広報掲載、チラシ全戸配布、小中学校配布)
- ・ 応募要領の決定(応募対象者、募集期間、応募方法、留意事項、応募・問合せなど募集チラシ参照)
- ・ 事務局で集計し分類する、校名に託された願いを大事にする。

校名募集 平成21年2月2日(月)～28日(土)

・ 応募総数696、校名種類140

第4回校名部会 平成21年3月11日(水)午後6時半～ 教育長室にて

校名選考

- ・ 応募校名理由の全てを一読し、意見交換をする。
- ・ 各委員が候補として残したい校名を挙げる(140種類全てを読み上げ、挙手する)
- ・ 14種類挙げられた後、意見交換をし、11種類に絞る。

第5回校名部会 平成21年3月30日(月)午後6時半～ 教育長室にて

校名選考

- ・ 選考の観点及び選考基準について協議する。
- ・ 新しい中学校開校に相応しい、地域性が表れている、県内で使われていない、親しみやすく響きがよい等
- ・ 意見交換をし、「富士見」「富士見秀嶺」「富士見星峰」に絞る。

中学校統合情報 NO.3(4月号)で公表、平成21年4月15日付け新聞報道

生徒感想を聞く 平成21年4月15日(水)～4月24日(金)

- ・ 富士見高原中学校 = 生徒会本部 代議員 クラス生徒
- ・ 南中学校 = 全生徒へアンケート

第6回校名部会 平成21年4月27日(月)午後6時半～ 教育長室にて

- 校名選考
- ・ 生徒感想並びに町民意見を聞き、意見交換をする。
 - ・ 総合的な判断から「富士見町立富士見中学校」に絞る。

2 候補「富士見」「富士見秀嶺」「富士見星峰」に寄せられた主な意見

校名	プラス面	マイナス面
富士見	<ul style="list-style-type: none">・ 富士見町に一つで地域を代表している。・ シンプルかつ町民の納得が得られる。・ 対等、平等で一つにまとまりやすい。・ 全国的に見て富士見町立富士見は当町だけの名称である。	<ul style="list-style-type: none">・ 普通すぎて地味・ 当たり前すぎる
富士見 秀嶺	<ul style="list-style-type: none">・ 四方を富士山、駒ヶ岳、八ヶ岳等に囲まれた地域性が表れている。・ 生徒が秀であるという願いが素晴らしい。・ 響きがよく親しみがもて、格好もよい。	<ul style="list-style-type: none">・ 字数が多く、漢字が難しい。・ 略称(秀嶺)で呼ばれた場合この中学校か分からない。
富士見 星峰	<ul style="list-style-type: none">・ 星がきれいで峰に囲まれているという地域性が表れている。響きがよい。・ 星 = 希望が連想でき、夢がもてるイメージで新中学校発足にふさわしい。	<ul style="list-style-type: none">・ 星 = 夜というイメージ、他地域に特色がある。・ セイホウと呼ばれた時、どの漢字を使うのか分からない。

選考過程において ・ 富士見 について、新中学校発足に向けて、一步踏み出した校名でもよいという意見があったが、秀嶺・星峰のどちらかがよいかという点で一本化は難しかった。

3 まとめ

校名部会における結論

新中学校名は、「富士見町立富士見中学校」が最も適切である。

- ・ 様々な意見が出され、活発な話し合いがされたが、最終的には統合し発足する富士見町に一つの中学校であることなどから「富士見中学校」が選定された。

校名募集に寄せられた思いや願いを今後も大切にしてほしい。例えば「秀嶺」「星峰」など、校歌の歌詞の中に入れてもらえれば有り難い。